

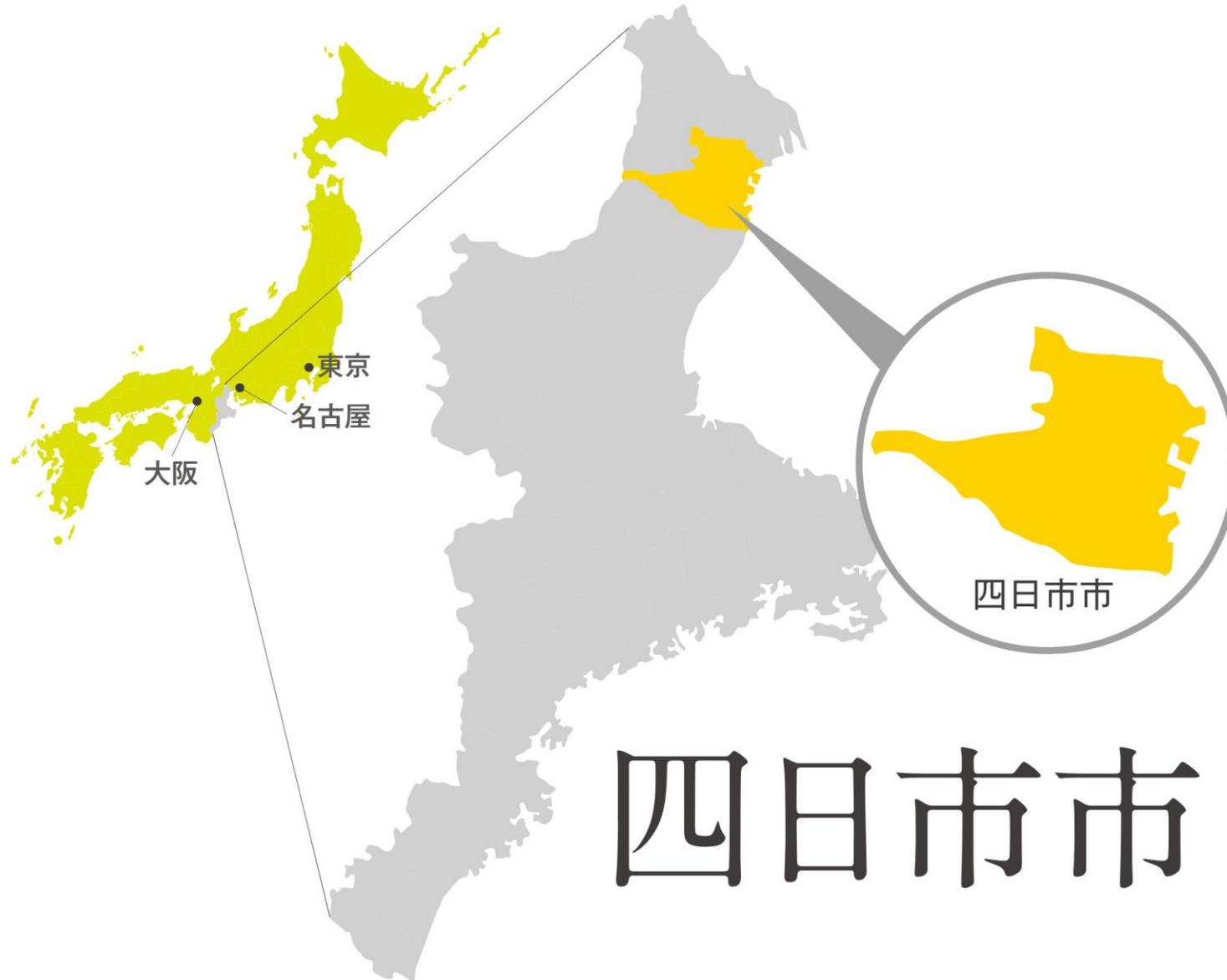


## 企業版ふるさと納税を活用した

コスモ石油株式会社 + 三重交通株式会社 + 三岐鉄道株式会社 + 四日市市  
共創によるカーボンニュートラルへの取り組み



# 三重県で随一の産業都市



【人口】

約31万人

【製造品出荷額】

約3.5兆円  
全国第10位  
(2023年実績)

## 四日市市

臨海部は  
日本夜景遺産の  
四日市コンビナート



北西部は  
鈴鹿山脈の麓に広がる  
全国有数の「かぶせ茶」の産地



自然の恵みと産業のバランスに優れたたゆたかな都市

# そんな恵みのふるさとを後世に引き継ぐため「ゼロカーボンシティ」を宣言

四日市市  
マスコットキャラクター  
こにゅうどうくん



2050  
カーボンニュートラル  
エコ活動で地球をまもろう  
— Yokkaichi City —



ふたつの視点の  
相乗効果で！

コンビナートに関しては、企業や学識者、行政機関が連携する「四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会」を設置しコンビナート企業の特性を生かした将来ビジョンを定めて中長期の取り組みを推進

一方で、もっと直近で企業・自治体・市民が一体となって「今、すぐにできることはないか？」ということで企画したのが当該事業

# Go to Zero, Together!

企業版ふるさと納税を活用して、みんなでゼロカーボンシティへ

(啓発メッセージ)



CO<sub>2</sub> 排出ゼロへ、今、できることから

四日市市



市内を走行する路線バスのEV化を企業版ふるさと納税による寄附を活用して行う  
EVバスの車体に啓発メッセージを掲示し  
カーボンニュートラルへの取り組みを市内外の人に広く啓発する

市内に工場を置く企業、市内路線バス事業者、自治体、市民が、「今できることから」を実践し  
草の根からのゼロカーボンシティをめざす

(当該事業の要点)

カーボンニュートラルへの対応は社会的責任となっているが  
それぞれが単独で対応することは難しい  
という課題

**寄附企業**

自社で今すぐ  
できることって  
何がある？



**交通事業者**

E Vバスを  
導入したいが  
費用をどうする？



**自治体**

さて何から  
手を付けたら  
いいの？



**市民**

重要とわかるが  
何をすれば  
いいの？



そこで

コスモ石油からの寄附を、三重交通と三岐鉄道の路線バスのE V化の補助金に活用

# Go to Zero, Together!

官民共創で解決



工場のある自治体に  
寄附することでも  
貢献できる！



自治体の  
補助金があるのは  
ありがたい！



環境問題への  
取り組みを  
眼に見える形で！



E Vバスに乗るのも  
環境問題の解決の  
ひとつだ！



企業版ふるさと納税を活用することで、皆が一体となってゼロカーボンシティへ

# Go to Zero, Together all Japan!

同様のスキームで  
他の自治体が路線バスのEV化を行えば  
ゼロカーボンシティへの  
草の根からの取り組みが全国へ！

